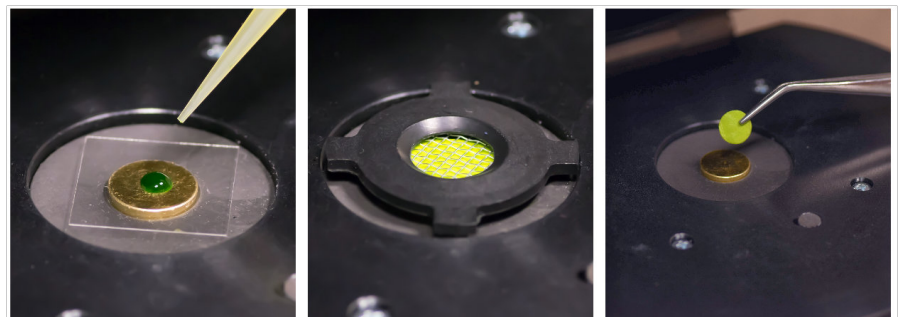
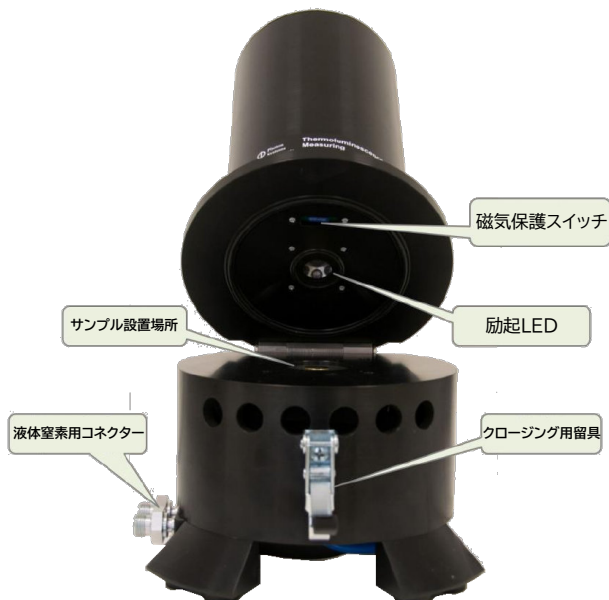


## 酸化ストレスを簡易的かつ効率的にモニタリング



- 受光器に高感度な光電子増倍管を採用
- 温度範囲 -100~200℃
- 外光に影響されない設計のため、研究室条件下での測定が可能
- リアルタイムデータ表示、デバイス設定用タッチスクリーンディスプレイ

サーモルミネセンス測定器TL6000は、PSIIのエネルギーレベルの構造を調査できます。PSII反応中心での光誘起電荷分離は、吸収された光エネルギーを保存するラジカルペアの蓄積をもたらします。加熱により、これらのラジカルペアの再結合が誘発され、発光と特徴的なサーモルミネセンスグローブ曲線の形成がトリガーされます。

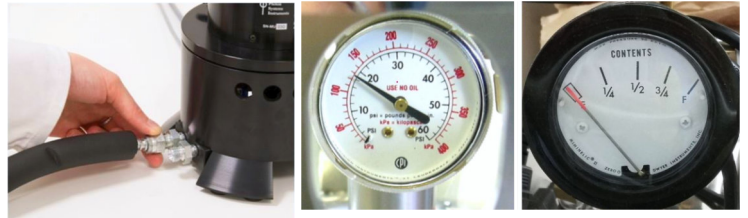
## TL6000/ST

温度範囲:  $-25 \sim 70 \text{ }^{\circ}\text{C}$   
 最大線加熱速度  $1.5 \text{ }^{\circ}\text{C}/\text{秒}$   
 ペルチェ素子と水冷ユニットによる温度制御  
 Q、A、B1、B2、C、AGの各グローブピーク  
 調査に最適

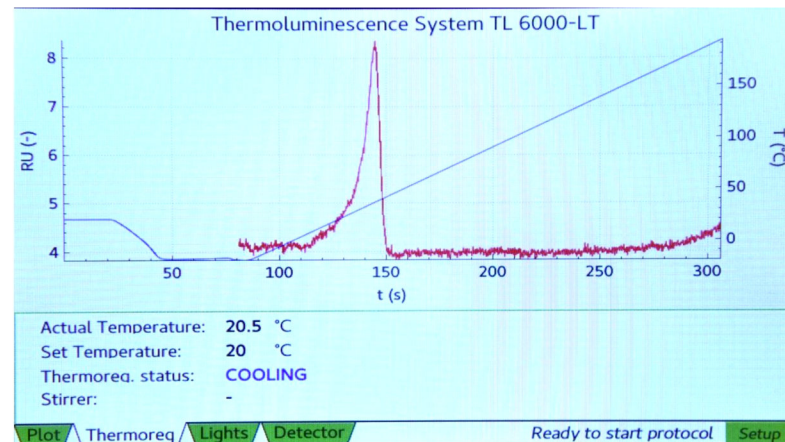


## TL6000/ET

温度範囲:  $-100 \sim 200 \text{ }^{\circ}\text{C}$   
 最大直線加熱速度  $1.8 \text{ }^{\circ}\text{C}/\text{秒}$   
 窒素タンクと抵抗加熱による温度調節  
 Z1、Q、A、B1、B2、C、AG、脂質の  
 グローブピーク調査に最適



## 本体タッチパネルスクリーン

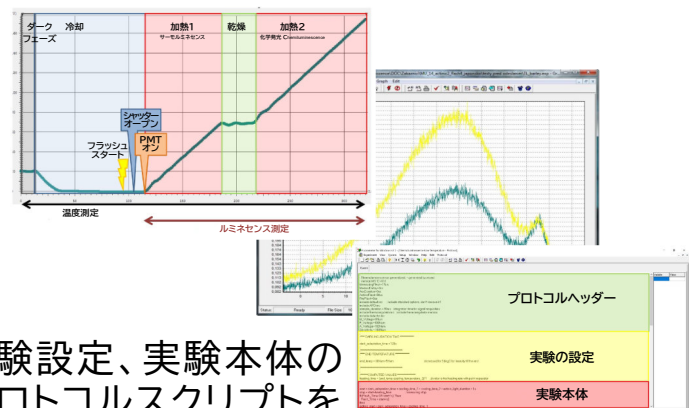


測定中のデータをリアルタイムに読み取ることができるほか、グラフやデバイスの設定も可能です。上部には接続されているデバイスの名称が表示されます。グラフ内のデータはリアルタイムで表示されます。

グラフ内はスワイプで移動できます。右下には、計測の状態が表示されます。

## 制御ソフトウェア

- 実験プロトコルの作成と保存
- FluorWin Wizardによるプロトコルのスクリプト化
- 実験データの検索とエクスポート
- データの操作と可視化
- Windows 7以降に対応



プロトコルスクリプトは、プロトコルヘッダー、実験設定、実験本体の3つの部分から構成されています。ユーザーは、プロトコルスクリプトを書き換えることにより実験の設定を変更出来ます。ヘッダーセクションと設定セクションの変更は、プロトコルスクリプトに関する知識がなくても可能です。実験本体セクションの編集は、より経験豊富なユーザー向けです。

## 技術仕様書

TL6000/ST  
TL6000/ET



温調仕様	
温調システム	ペルチェ素子・水冷ユニット (TL6000/ST) 窒素タンク・熱抵抗ヒーター (TL6000/ET)
温度範囲	-25 ~ 70 °C (TL6000/ST) -100 ~ 200 °C (TL6000/ET)
波長	1.5°C/s (TL6000/ST) 1.8°C/s (TL6000/ET)
温度制御	マニュアル(一定温度) プロトコル定義の温度プロファイル
オーバーヒート防止機能	有り
LED光源	
波長	623 nm
飽和パルス	最大300,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$
アクチニック光源	最大2,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$
受光器	
タイプ	光電子増倍管
分光レスポンス	300 ~ 900 nm
最小サンプリング時間	100 ms
電源オン後の遅延	100 ms
周囲光保護機能	有り
サンプルディスク	
材質	金メッキ銅
直径	14 nm (TL6000/ST) 22 nm (TL6000/ET)
標準のサンプル	藻類およびシアノバクテリアの懸濁液 葉の部分
ソフトウェア	
タイプ	FluorWin 3.7
コントロール	事前定義されたプロトコル、および可変タイミング、特殊言語、 スクリプトを含むカスタム定義プロトコル
通信	RS232/USB
その他	
制御部寸法	365 x 275 x 150 mm
測定部寸法	310 x 200 x 200 mm
電源仕様	90 ~ 240 VAC、50 ~ 60 Hz

